

各国のジェンダー 平等に向けて。 NGOの今

2022 年の日本のジェンダーギャップ指数は 146 カ国中 116 位と低迷を続けています。先進国では最低レベル、アジアでも韓国や中国よりも下位となっています。

JVC は日本の NGO として長い活動実績を持ち、各国の女性の自立の取り組みを支援して来られました。その取り組みと、各国の女性の社会的経済的状況について学ぶとともに、日本の地域社会において援用できる可能性や、NGO と市民社会のあり方について検討します。

講師

並木 麻衣

(日本国際ボランティアセンター(JVC) 広報・ファンドレイジンググループマネージャー)



東京都出身、福岡・大阪・宮城・千葉育ち。大学でアラビア語と平和構築を専攻。"紛争地" パレスチナで暮らしてみたくなり、パレスチナ・イスラエルへ留学。現地に友人が増え、紛争の両側で生きる人々が抱える問題に直に触れる。卒業後は企業、スーダン障がい者支援 NGO を経て、2013 年から JVC パレスチナ事業担当。ガザ地区では母親支援、東エルサレムでは若者支援に従事した。2019 年から広報担当。現地に生きる人々の体温を伝えられる NGO でありたい、と願いながら日々活動中。



日程

2月2日 木 13:00-15:00

料金

500 円

定員

30 名

(オンライン対応はなし)

申込方法

大津市市民活動センターまで電話でご予約をいただくか moveotsu@gmail.com に電話番号とお名前と、フォーラムに参加をご希望される旨を記入の上ご送信ください。

会場

大津市市民活動センター大会議室



〒520-0047

大津市浜大津 1 丁目 3-32

※大津市公共駐車場、明日都浜大津の駐車場をご利用の方は 90 分まで無料のサービスがあります

写真展

大津市市民活動センター、交流スペースにて 1 月下旬より日本国際ボランティアセンター(JVC) の写真展を開催いたします。

主催

大津市市民活動センター

〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1 階

お問合せチケット窓口

☎ 077-527-8661

E-mail: moveotsu@gmail.com

日本国際ボランティアセンター (JVC)

1980 年からアジア・アフリカ・中東・日本で活動している国際協力 NGO。
世界中で開発がもたらす悪影響、紛争によって起こる人道危機など、困難な状況におかれた人々の暮らしを国境を越えて支えながら、人々が直面する問題が根本からなくなることを目指し、草の根の声を政府・国際機関に働きかける提言活動を続けている。



スーダンで紛争で学校に行けなかった子どもたちへの補習校を通じた教育支援

参加費 (経費を除く) は、すべて大津市内で女性支援を行う 2 団体に寄付されます。

「大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト」では 2019 年度から毎年 SDGs のテーマを設け、テーマに沿った市内の市民公益活動団体へのチャリティなどの支援事業に着手してきました。

詳細は当プロジェクトの HP をご覧ください。

<http://movementotsu.com/SDGs2022/SDGs2022.html>

大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 検索



大津市母子福祉のぞみ会

母子家庭や寡婦の生活支援、交流事業、子ども食堂、フードパントリー、就業自立支援、多機能型シェアハウスの運営など



社会福祉法人
滋賀県母子福祉のぞみ会

このチャリティは「母子家庭の親子のプレゼント」事業などに使われます



NPO 法人リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ

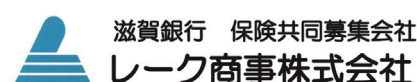
各種依存症からの回復の場、自助グループ・相談室を経て、グループホーム・及びデイセンター(自立訓練施設)の運営など



このチャリティは「おりーぶ 10 周年フォーラム」事業などに使われます



協賛



後援 滋賀県 社会福祉法人大津市社会福祉協議会 朝日新聞大津総局 毎日新聞大津支局 読売新聞大津支局 びわ湖放送株式会社
株式会社滋賀リビング新聞社 京都新聞 株式会社エフエム滋賀 大津商工会議所 大津北商工会 瀬田商工会